

ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（6月発表の経済指標）

- (ア) 2021年第1四半期のGDP成長率は前期比+1.2%（3四半期連続の増加）、前年同期比+1.0%（5四半期ぶりの増加）となった。
- (イ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）に関して、6月25日時点で、GDP成長率予測については、2021年は5.05%（前週より0.05%ポイント上昇）で、2022年は2.11%（前週より0.01%ポイント上昇）となった。インフレ率については、2021年は5.97%（前週から0.07%上昇）で、2022年は3.78%（前週から変わらず）となった。
- (ウ) 4月の鉱工業生産指数は前月比▲1.3%、前年同月比は+34.7%となった。
- (エ) 4月の小売売上高は前月比+1.8%、前年同月比+23.8%となった。
- (オ) 失業率（2021年2～4月）は14.7%となり、2021年1～3月の移動平均14.7%から横ばいとなった。前年同期比（2020年2～4月）では2.1%ポイント上昇した。
- (カ) 5月の拡大消費者物価指数（IPCA）は0.83%の上昇となり、前月の0.31%から0.52%ポイント上昇。直近12カ月累計は8.06%となった。
- (キ) 2021年6月の貿易収支は103.7億ドルの黒字。2021年1～6月の累計は374.96億ドルの黒字。

(2) 経済政策等

- (ア) 6月21日、国営電力会社エレクトロbras社の民営化を可能にする暫定措置案が下院にて承認された（6月17日に上院にて同案は可決されていたが、法案内容に変更があったことから下院で再審議されていたもの）。今後、大統領裁可に付される。
- (イ) 6月25日、ゲデス経済大臣は、所得税の非課税所得の引上げや法人税率の引下げ等を含む税制改革案を議会へ提出した。

(3) 金融政策

6月17日、伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は政策金利（Selic）を0.75%ポイント引き上げて4.25%とすることを全会一致で決定した。政策金利の引き上げは3月、5月に引き続き3会合連続。次回会合は8月3日及び4日。

(4) 為替市場

- (ア) 6月の為替市場は4.91～5.15リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.03～5.15リアル/ドルで推移。好調な経済指標や伯中銀

が断続的な利上げを行うとの見方等から 1 ドル=5.03 レアル台へ上昇。
(ウ) 月の後半は 4.91~5.09 レアル/ドルで推移。経済見通しの上方修正や
伯中銀が利上げ幅を拡大するとの見方の他、米国の金融緩和策の早期縮小懸
念の後退によりレアルが上昇。6月22日には、1ドル=4.95 レアルと 2020
年6月以来初めて 5.00 レアルを下回って取引終了した。

(5) 株式市場

- (ア) 6月の株式市場は 128,267~130,776 ポイントで推移。
(イ) 月の前半は経済見通しの上方修正、資源価格の上昇、米国の金融緩和策
の早期縮小への懸念後退等を材料に上昇、6月4日には 130,000 ポイント台
で取引を終えるなど高水準で推移。
(ウ) 月の後半は 126,802~129,514 で推移。米国の金融政策動向に係る高官
発言で一進一退となり、コロナウィルスワクチンを巡る疑惑や税制改革によ
る増税懸念で下落傾向。